

山行番 NO. 1671
日時 2016. 2. 8 (日) 晴時々曇り
山域 丹沢・大山 (1252m・日本三百名山・関東百名山)
コース 下土狩発5:00—新東名長泉沼津IC—秦野・中井IC—R246—大山第1駐車場6:40—大山ケーブル駅7:05—男坂—下社7:50—表参道—大山9:30~10:10 (昼食・休憩)—表参道—下社11:25—女坂—大山ケーブル駅12:10—大山第1駐車場—弘法の里湯 (日帰り温泉)—下土狩着15:45
標高差 上り 大山第1駐車場約320m~大山1252m=約932m
下り 大山1252m~大山第1駐車場約320m=約932m
参加者 CL後藤、峰田、勝又薫、長谷、室伏、沖、秋山=7名

なんちゃってスノーハイクも結構楽しいぞ！

5:10 下土狩を出発した後藤L運転のクルマは「なめり・ウエルシア薬局」前で3名をピックアップ。今日の参加メンバー全員が乗車完了 (※) となり、新東名の長泉沼津IC経由で伊勢原市に向かった。(※) 当初参加予定であった土屋さんは時間間違えで欠席。

秦野・中井ICから下道へ。伊勢原市内に入ると、降雪のために白くなった大山が近づいて来た。

6:40 大山第1駐車場に到着。時間が早いのでガラガラ。軽い挨拶を済ませ、まずは大山ケーブル駅を目指してスタートとなった。気温は0度。大山ケーブルバス停に到着する頃には日が差し始め暖かくなった。こま参道の石段でウォーミングアップ。沿道のみやげ店はまだ開店していない。



7:05 大山ケーブル駅到着。右へ進めば男坂、まっすぐ進めば女坂。往路は男坂で上り、復路は女坂を下る予定だったので右へ進む。いきなり、急な石段が目の前に。段差もある。石段を上り終わると、次に石段が現れた。下社まで一体何段あるのだろうか。途中に普通の登山道もあったが、石段は延々と続く。高度が上がるに連れて、登山道が白くなって来た。途中にあったアルミの階段はシャーベット状になった雪が積もっていた。注意して通過。



7:50 下社到着。薄く積もった雪で一面の銀世界。空はほぼ快晴。スリップに注意しながら石段を上り拝殿に向かった。登山の安全祈願をした後、拝殿の地下へ。お神酒を頂いた。ここからが本格的な登山となるのであるが、実は当初予定では見晴台から雷ノ峰尾根経由で大山山頂へ向かうことになっていた。登山口は下社右手にある。しかし、降雪により登山道のコンディションが良くない可能性があることから、CLの判断でポピュラーな登山道である表参道を往復することになった。安全を考えた判断である。表参道登山口は左手にあった。



昨年同じメンバーで登った七面山同様、登山道には丁目石があった。1丁目からスタートして28丁目で山頂到着となる。14丁目を過ぎる辺りから積雪量が目に見えて増えてくる。すれ違う下山者の足元を見ると、ほとんどのハイカーは軽アイゼンを装着していた。20丁目の富士見台は雪雲で眺望ゼロ。休憩は体が冷えない範囲で、短めに何度か取った。25丁目のヤビツ分岐に差し掛かると降雪量は一気に増えたが、青い空と真っ白の雪のコントラストは素晴らしかった。大山の頂上は目と鼻の先だ。頑張れ！



9:30 大山頂上に到着。標高 1252m。先客が居たが、我々も無人の売店のベンチで休憩をすることにした。富士山がチラッと見えたが、直ぐに雲に隠れてしまった。ちょっと早いが、ここで昼食タイム。





ランチ

寒いのでお湯を沸かしてカップ麺を頂く。おかずはメンバーお手製の漬物。毎度のことであるが、自分にはこれが結構楽しみでもある。空は晴れたり曇ったり。地元の鉄道会社のHPには「関八州の展望台と言われ、『かながわの景勝50』に選定された山頂からの眺めはすばらしく、空気の澄んでいるときは相模平野から三浦、房総半島、東京都心の高層ビル群も望見でき、振り返れば丹沢表尾根から富士、箱根の連山、秩父多摩の山並みがつづき、東京近郊の山で随一の眺望を誇っています。」と書かれていたが、残念ながら眺望は楽しめなかった。10時すぎに売店の主（夫婦かな？）がやってきた。我々はそれと入れ替わりに下山することにした。



10:10 下山開始。来た道を帰るので登山道の状態は分かっている。踏み跡は凍って滑りやすい。かと言って、まったく踏み跡がない場所には下に何があるかわからないので、むやみに登山道は外せない。登ってくるハイカー、後ろから追い抜きをかけてくるハイカーに道を譲りながら下山を続ける。夫婦杉のある辺りから雪道は泥んこ道に変わった。これは想定内だった。日曜日ということもあって、登ってくるハイカーが多かった。



11:25 下社到着。一面の雪はすべて溶けてなくなり地肌が見えていた。伊勢原や秦野の市街が眼下に広がっていた。神社に無事の下山のお礼をして、女坂に向かった。出だしは急な石段。男坂よりは勾配が緩やかかも知れないと期待していたが、現実には大差なし。標高差が同じなのだから当然と言えば当然。時間的にも10分ぐらいしか変わらない。しばらくするとお経が聞こえて来た。真言宗のお寺である大山寺である。どうやらスピーカーで読経を流しているようだ。境内抜け、更に女坂を下る。



大山寺



12:10 ケーブル駅に到着。こま参道の階段を下って行く途中、休憩がてら、沿道のお店で大山名物の豆腐を頂くことにした。お味の方は……（個人的な感想ですが）自宅で頂くお豆腐と大差がなかった。



大山豆腐



豆かん
450-

休憩後は駐車場に戻り、GLのクルマで次の目的地である「弘法の里湯」へ向かった。「弘法の里湯」は小田急線の鶴巻温泉駅から徒歩圏内にある秦野市営温泉。ここで、一浴した。



14:30 帰途に着く。往路と同じ道で静岡へ帰る。いつもは混雑する R246 も意外と空いており、スムーズに移動が出来たが、あまりの気持ちの良さで、またしても爆睡してしまった。

15:30 ピックアップしてもらった場所に到着。ここで皆さんとお別れ。想定外の「なんちゃってスノーハイク」となったしまった山行は標高差約 1000m を往復したのにも関わらず、あまり疲れていなかった。本日参加の皆様、ご苦労様でした。



阿夫利神社・下社

参加者ひとこと

後藤 「雪の大山は素敵でした。ヤビツ峠からの登山者も多いね。雲が多く残念。下社のお神酒は美味しかったデス（笑）」

長谷 「今日は、1歩1歩が、修行でした。御利益あるといいです。」

沖 「昔（49年前）の大山詣りはヤビツ峠からだったので楽チンの印象しか残っていなかったが、またまた階段の山、段差も大きく何段あったのだろうか。おまけに下り坂の圧雪には参りました」

以上